

総合科学実践プロジェクト

2 単位 (選択) 3 年 (前期)

宮崎 隆義・教授/人間文化学科, 依岡 隆児・教授/人間文化学科, 山城 考・准教授/社会創生学科, 山本 裕史・准教授/社会創生学科

【授業目的】 専門を異にする教員が、共通もしくは複数のテーマで受講生とともに授業を運営し、実践的で総合的な学習姿勢を体得する。授業を通して、文系、理系相互の視点からものを考え、企画・調査し、討論・発表によって総合科学の実践力を養う。

【授業概要】 総合科学に関わる諸問題を、文系、理系の視点から考え実践的に解明をおこなってゆくワークショップ方式の授業である。欧米の文学や比較文化、植物や環境を専門とする 4 名の教員が、受講者とともに授業の内容を企画し、共通もしくは複数のテーマを設定して、文献調査やフィールドワーク (例:吉野川干潟観察プログラム・流域水環境分析プログラム・環境保全運動考察プロジェクトなど複数のテーマで開設) を通して文系・理系相互のもしくは融合した視点から、考察を深め、最終的にはその成果を発表する。

【到達目標】

1. 文系、理系双方の考え方を理解し融合させる。
2. テーマの設定、フィールドワークの実施や文献の調査等を通して実践的な企画力を養う。
3. 文献の購読や討論を通して論理的な思考や理解を高め、成果発表の能力を高める。

【授業計画】

1. 以下の計画はおおよその目安であり、受講者の志向や関心、文献調査やフィールドワークなどの動向を見ながら 16 回の授業を運営してゆく。
2. オリエンテーション
3. テーマの設定について討議 (2 回程度)
4. 授業の運営について討議・企画 (2 回程度)
5. 調査およびフィールドワーク (3 回程度)
6. 中間発表 (2 回程度)
7. 討論とさらなる調査 (3 回程度)
8. まとめと発表 (2 回程度)
9. 総括

【成績評価】 授業への参加状況、議論の内容、発表や報告などを総合的に評価する。

【再試験】 なし

【教科書】 なし

【参考書】 授業の中で適宜紹介する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220352>

【連絡先】

⇒ 宮崎 (総合科学部 1 号館 3 階北棟 3309, 656-7131, miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火・木曜日 12 時 ~ 13 時)

⇒ 依岡 (1308, 088-656-7143, yorioaka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 12 時から 13 時)

⇒ 山城 (088-656-7257, tyamash@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 山本 (総合科学部 3 号館 2N07, 7618, hiroshi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL